

## 平成25年度 第2回 山梨県文学館協議会 会議結果記録

日 時： 平成26年2月27日(月)

場 所： 県立文学館研修室

### 参加者：

委員 早川公仁、高野美智子、蔦木雅清、植松裕二、鈴木弘亮、池田尚隆、  
小菅健一、数野強、赤坂治績、上野美穂子、乙黒幸江、福嶋尚美、  
中込富夫

県教育委員会 田中学術文化財課長、古屋学術文化財課主査

県文学館 三枝館長、酒井副館長、小石川学芸幹、大関総務課長、  
三澤資料情報課長、名取総務担当主査、

小林教育普及担当主幹教育主事、水上資料情報担当副主幹

指定管理者 見目SPS総支配人、山本SPS支配人

### 議事

- (1)平成25年度事業実績について
- (2)平成26年度事業計画について
- (3)その他

### 議事録

新委員への委嘱状交付

学術文化財課長挨拶

会長挨拶

館長挨拶

事務局職員紹介

事務局から会議資料により、議事(1)～(2)を説明

会長

事務局から説明がありましたが、委員の皆様には、質問・意見はありますか。

C委員

怪傑ゾロリの企画は、私もいろいろな人に感想を聞いてみましたが、よかった。おもしろかったという感想が多かったです。ただ、作品を読んだ人しか来ないという状況はあったと思います。漫画でもなく、児童文学書でもなくですが、多くの人

が集まったのはよかったと思います。ちょっと文学館に寄ってみようかという感じになれば良いと思います。

会長

怪傑ゾロりは市町村図書館でも取り上げたようで、そういうことではブームになったようですね。

J委員

資料の6ページに常設展の観覧者数のデータがありますが、企画展のデータはありますか。それと、来館者数の内訳で高校生の数字はありますか。

事務局

資料7ページに特設展の、9ページに企画展の展示会ごとの来館者数のデータがあります。高校生のデータは、本日の資料にはありませんので、資料を作成し、後日、委員の皆様全員に郵送等により提供します。

E委員

昨年の展示会を見せてもらって気づいたことをお聞きします。昨年の与謝野晶子展はタイムリーで良かったと思います。「みだれ髪」など展示を見て、読みたいと思う作品が見つかって、1階のショップに、その本がないのは残念です。在庫のストックは大変と思いますが、企画展の時は、関連の書籍を集中的に用意すれば、来館者増につながると思います。

それと映画鑑賞会ですが、これはどこをターゲットにしているのでしょうか。ゾロリの

映画は、展示会の関連で、参加者も多く来たのが分かりますが、他は、高齢者向けの古い映画で、ねらいがあるのか疑問です。来年度は谷崎潤一郎展を予定しているので、「痴人の愛」は無理かもしれませんが、「春琴抄」、「細雪」は何度も映画化されているので、これを取り上げていただければ、より興味がわくのではと思います。

先ほどの指定管理者からの説明で、与謝野晶子展で短歌大会を開催し、三枝館長を審査員に迎えたら、大勢の人が来たとのことですが、短歌、俳句、川柳は、各新聞が取り上げていて、知り合いの支局長さんに聞いても、投稿する人が多いとのことですので、文学館でも、教室を開けば、より多くの県民が文学館に足を運びきっかけになると思います。他県では、俳句甲子園などのイベントもありますので、是非、山梨文学賞以外にも文学館の冠をかけるようなイベントも有効かと思います。私たちはテレビ局なので、できるだけ番組で紹介できたらとも思いました。

## 事務局

ありがとうございました。ショップでの関連書籍の扱いは、ご指摘のとおりで、なるべく、取りそろえられるよう努力していますが、専門書の場合、入手が困難なものもあります。

次に、映画館紹介のターゲットですが、なるべく幅広い層からの要望に応えられるようにしています。また、文学館での上映ですので、文学作品、文芸作品を取り扱った映画を選んでいきます。一方、予算の制限もありまして、若者に受ける作品の場合ですと、それ1本で、資料に載っている映画3本分の費用が必要ということがあります。ここで取り上げている作品は、年配の利用者からの要望が多いということも事実ですが、ただいまのご意見を持ち帰り検討させていただきます。

短歌大会のお話がありましたが、これは必ずしも、企画展との関連だけでなく開催もしていますし、指定管理者とも相談していますが、今後も継続していきたいと考えています。教育普及事業でも、俳句をとりあげていまして、資料の13ページをご覧ください。昨年8月に「佐藤文香さんと遊ぶ夏休み！俳句シャワーでバビル人をたおせ！」を開催しました。子供たちは将来の文学館利用者ですので、文学に興味を持ってもらいたいということで子供向けに分かりやすい、俳句教室を開催しました。講師の佐藤さんは俳句甲子園の人で、このような人を先生としたイベントも開催しています。

## 〇委員

ただいま、学芸幹の方から、底辺を広げるといった趣旨の話がありましたが、私は高等学校文化連盟の文学部門を担当しています。そういう関係で今年は、高校生文学散歩やエッセイ教室を文学館で開催してもらいました。子供のうちの動機付けが大切なので、これからも活発にやっていただきたいと思います。来館者数のこともあるとは思いますが、よいイベントを開催して、未来につなげていただきたいと思います。

## 会長

こここのころ、教育普及事業が充実していて、小中高ともに助かっていますが、今後も、今のご意見にあるように継続していただきたいと思います。

## 事務局

ただいまのご意見については、私たちから先に、お話ししなければならなかったのですが、高文連に対して高体連というのがありますが、高校総体の場合、生徒は試合に出る際に公欠になっていますが、中込先生のご尽力で、文学館での平日の授業参加は、先生も生徒も公欠としていただきました。文学散歩の講師派遣でも協力い

ただきまして、感謝しております。

会長

資料の14ページに、普及事業の実績が載っていますが、これは私の感想ですが、今、教育現場では、何かと英語教育の重要性が叫ばれていますが、やはり、読み書きソロバンが基本で、今の流れには疑問を持っています。日本語がきちんとできなくて、何が英語かという気がします。もちろん英語教育の重要性を認識した上での発言なのですが、

是非、校長会にも協力いただき普及事業は続けていただきたいと思います。

N委員

小学校中学校でも文学先品を学びますが、作者についてもきちんと学びます。その際には実物、たとえば、作者の直筆原稿などがあれば、より興味を感じます。昨年、石川啄木の等身大パネルの貸し出しをしていただきましたが、文学資料の貸し出しがあれば、どれだけすばらしいかと思いました。

県立博物館では、夏休みに教師のための研修を開催していますが、その中で、石器や土器を学校に貸し出した場合の扱い方の講義を3日間受けて、修了した先生のいる学校に貸し出すことをしています。文学館でも同じような研修を行って、大切な資料なのは分かりますが、実物の貸し出しができれば、小さな時から、文学に興味を持ち、文学館に行ってみようということにもつながると思います。是非そんなこともお願いします

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。現在貸し出しているのは、啄木のパネルの他、今年から、先ほど紹介した、飯田蛇笏・龍太の「ちまちま人形」があります。文学資料の貸し出しについては、資料をいためない配慮がひつようで、必要な予算措置もありますので、持ち帰り検討させてください。当館に来て授業を受けた生徒さんには、チャレンジシートを配って、展示資料を見ながら、問題に解答するようなこともしていますが、同じ事が学校でもできないということですね。

博物館での教師のための講義との話がありましたが、文学館でも、春秋の2回、研修会を開催しています。今年度は、春が「富士山展」、秋が「与謝野晶子展」に関連したもので、義務教育課と高校教育課と連携して開催しました。やはり、まず教師が作品の惚れ込んで、熱くなって生徒に伝えなければ伝わらないので、この事業は大切に思っています。

会長

是非、地道にやっていただきたいです。博物館の活動も実は、やっと緒につくといった感じで、文化財を動かすというのは大変なことなんです。移動図書館というのがありますが、移動文学館という感じで地道にやっていただきたいです。

#### Ｊ委員

意見と言うより要望ですが、特設展についてですが、私の専門は演劇、戯曲なんです。このような分野にも対象が広げられないかということなんです。いろいろな要望があって大変とは思いますが、来てもらわないことには、しょうがないので、将来的には実現してもらいたいと思います。

もう一点、文学賞ですが、これまでの受賞作品をインターネットで調べてみましたが、よく方向性が分からないのです。今朝、出がけに山日新聞を読んでいたら、春日部の文学館で、あそこは「奥の細道」の通り道なので、そっちの方に特化した文学賞をやっているようですが、山梨の文学賞も何か特徴を出すべきだと思います。私は6年前に山梨に帰ってきて、山梨文学賞があることを知ったのですが、小説の文学賞は他にも沢山あって、特徴がないと埋没してしまいます。ですから、すぐに効果が出るのも難しいでしょうが、山梨の宣伝になるような特徴を出してほしいと思いました。

#### 事務局

貴重なご意見ありがとうございました。当館は、近代文学に特化しているわけではなく、常設展示室に入るとすぐのところに古典もあります。第5室には、ジャーナリズム、演劇に関するものも展示しています。中央公論社の編集をしていた兩宮さん、坪内逍遙の教え子ですが、その色紙もあります。演劇ジャーナリズムも、当館の資料収集方針に合致しています。

文学賞についてのご意見は、私どもも同じ思いを持っています。文学賞は、22回になりましたが、樋口一葉記念を冠しており、山梨らしさを出したい思いはあります。特色が無いと埋没するという危機感も同感であります。

#### 会長

難しい問題ですね。芥川賞も150回になり、文藝春秋が大々的にやっていますが、芥川賞も直木賞も時代とともに変わってきて、中にはこれはどうかという受賞作もあります。山梨文学賞も変わるべきでしょうが、特色を出すのは非常に難しいことです。でも、山梨文学賞も地についてきて、全国から応募がありますから、今後の課題として、館長さんを中心に考えていただきたい。

#### 館長

ご指摘ありがとうございました。私たち、このままでいいとは思っていません。改革の方向性として、地域に根ざしたものというのは一つ考えられます。樋口一葉記念なので、樋口一葉を地域に結びつけて考えるか、あるいは、樋口一葉は近代文学の大きな柱なので、これを冠にするならば、全国的な文学賞とすべきとも考えられます。悩ましいところです。研究・評論部門については、研究者を検証するのですが、こういう機会は非常に少ないので、その意味ではこの文学賞は貴重です。また小説部門は新人賞なので、これをきっかけに全国的にアピールできるのが理想です。ところがですね、書き下ろしの新人が応募する文学賞を、私もいろいろ調べたのですが、受賞者が、その後も広範に活動を広げている例は、川上弘美さんぐらいしかないといった現実もあって、お二人の指摘は、私たちも考えている課題なので、もう少し時間をいただきたいと思います

#### J 委員

評論部門については、他に無いので、意味があると思いますが、小説部門は、他にもいっぱいありますから、何か特徴を出さないとまったくないと思います。

#### 会長

では、これは課題ということをお願いします。他にありますか。

#### C 委員

私は、児童文学に関わっていますが、以前にYBSさんで、「お話積み木箱」という5分か10分の番組がありました。今はやってないということですが、耳から入ってくる文学も重要と思います。実は私の作品が取り上げられたことがあり、びっくりしました。どこから作品を発掘していたのか分かりませんが、短い作品、子供向けの作品をとりあげて、聴覚を肥えさせてくれる番組があるといいと思います。スポンサーとしては、文学館なのか指定管理者なのか分かりませんが、そのようなことはできないか要望です。

#### 会長

この協議会のメンバーには、放送局もいるので、検討していただきたいと思います。

#### E 委員

今の意見は、やはりラジオで番組にするのがいいと思います。

#### 会長

子供向けというと、教育テレビで夕方の時間帯にありまして、よく孫といっしょにみますが以前にくらべると、あまりよくない印象をもっています。

#### F委員

NHKとしては、年に何回か「おいしい朗読会」のように、イベント系だけでなく、ラジオを使って、文学系のものもやっています。しかし、これは毎週とか定期的にやっていかないと、皆様に定着しないので難しいのですが、全くやっていないわけではありませんので、弁解になってしまいますが、26年度も継続したいので、文学館の協力もいただければと思います。

#### M委員

質問ですが、資料14ページの、普及事業は、郡内地域へのアプローチがないようではいかがでしょうか。

#### 事務局

3月4日に南都留地域での校長会で説明を予定しています。北都留地域は予定していましたが、先日の大雪で中止になってしまいました。

#### M委員

校長会への働きかけの効力が大きいといことは、私も驚いています。校長先生も文学館の活動を全て知っているわけではないので、ここへ説明すると教師にも伝わりますから、今後も継続していただきたいと思いました。

#### N委員

私も郡内なので、ここでの話は、校長会で話したいと思いますが、郡内はやはり遠いです。文学散歩の晶子ゆかりの上野原の地を歩くなどはとてもいい企画と思いますが、情報が十分伝わってこないで、校長として教育現場に伝えることもやって行きたいと思います。各地域には、あまり知られていないけれども、いろいろな文学関係者がいます。それを文学館としてどのように発掘していくかを聞かせてください。

#### 事務局

もちろん、まだ網羅していなくて、実はこんな方がいたという、私どもも知らない方が多くいるかと思しますので、教えていただきたいと思います。実際、そのような情報提供はありまして、うちのおじいさんが俳句をやっていて、家に沢山資料があるが、有名な俳人と交流があって、調べてみると貴重な資料があったということ

も考えられます。

#### 会長

郡内地方は、むしろ芸術文化活動が盛んなんですよ。初狩は山本周五郎の出身地だし、芭蕉も一時期滞在していたし、そんな関係で俳句も盛んです。先ほどのM委員さんからの発言にもありましたが、校長会にこれだけ働きかけているのは、素晴らしいことですから、今後も引き続きやっていただきたいと思います。他にどうでしょうか。

#### G委員

私がこの席でよく話すのですが、古典の話があまり出てこないのが残念です。しかたないところもあるのですが、今年のセンター試験で源氏物語がでたが、平均点が半分を割ってしまったそうで、また評判が悪くならないか心配です。

私は文学館で講座も担当していますが、古典を読みたい人は沢山いるんです。でも近代、現代と違って、一人ではなかなか読めないというところがあります。私は、この場所を借りて、源氏物語を読む会を20年やっていて、K委員も参加していますが、ニーズはあるのですが、時間をかけないと古典は読めるようになりません。月一回でエンドレスで、例えば万葉集から始まって、平家物語とか、徒然草とか、興味のある人はいますから、半分読書会のようなことで、裾野を広げていくような、そういう活動をお願いしたいです。

#### 課長

私も、ことぶき勸学院の企画に携わりましたが、源氏物語と方丈記は必ず取り上げました。ほか万葉集もやりましたが、それらをつなげていければいいと思いますが、職員数は少ないですから、あれもやれ、これもやれというのは難しいですし、予算の問題もあるでしょうが、これは一番重要なことかもしれません。是非検討してみてください。

#### K委員

小中高生の入館料を無料にするようですが、もしそうであれば、是非それを生かせる取組を何年か継続して行ってはどうかと思います。具体的な案はまだですが、例えば、博学連携に力を入れているというお話がありましたが、ここで大々的に強化してはどうか、また、小中高の教科書で取り上げている小説展のようなものを開催してはどうか、また、子供だけではなく、親子で無料とする日を作るとか、子供の来館者を増やすことを、この機会に大きく打ち出してはと思いました。

それから、指定管理者から、「監視のプロ集団になる」というお話がありましたが、地道なことですが、とても大事なことだと思います。館の雰囲気づくりというのは

とても大事です。文学館は静寂なところということに終始するのではなく、暖かみのある感じの良さにつながる取組であると聞いていて感じました。

資料4ページの利用者数で、「屋外ステージ等」の利用者が、昨年に比べて大幅に増えていますが、これは国文祭の影響でしょうか。

#### 事務局

芸術の森公園の「さんさん広場」に、国文祭事業で、3Dアートが描かれました。この観覧者数を、国文祭事務局が、ある日にカウントしまして、美術館・文学館の来館者数との比率から、ある期間の3Dアートの観覧数を推計しました。これが公表されましたので、資料の利用者数に加算しました。というわけで、昨年度は無かった要因として人数が大幅に増えています。

#### 指定管理者

ありがとうございました。私たちはホスピタリデザインと言って、みんなの気持ちを高めています。来館者は皆さん感じ方が異なりますから、いらっしゃる皆さんが、皆いいと感じるサービスを作り上げるという意味で、ホスピタリデザインと読んでいます。私たちが、お客様と対峙したときに、それを醸し出せるようにしたいと努力しています。まだまだ半ばですが、これからもその気持ちを持って臨んでいきます。大変心強いお言葉をいただきありがとうございました。

#### 事務局

小中生は、従来、夏休み期間のパスポートで無料だったのですが、これからは、全期間無料になりますので、これを好機ととらえていきたいと考えています。教科書の題材を取り上げてはとのお話がありましたが、一例をあげますと。平成22年7月に、「くじらぐもからチックタックまで」という特設展を、これは美術館と共同で開催しましたが、これは小学校の国語の教科書に載った、お話を挿絵原画と物語をともに紹介しました。今後も同様の展示会など検討していきます。

#### 会長

他に意見がなければ、議題の3番目の「その他」に移りますが、事務局から何かありますか。

#### 事務局

< 飯田龍太文学碑の建設について、状況を説明 >

#### 会長

最後に、施設の外部評価についてですが、今はどの施設も外部から評価を受けています。こういう協議会では、年度末に、まず内部評価、できうれば外部評価、今後、是非手を付けていただきたいと思いますが、委員の皆様どうでしょうか。内部評価の結果を報告いただいて、それへの委員の意見も出るでしょうから、そのようなことも検討してみてください。

議事に関する、事務局からの説明を、委員が了解した。委員から示された意見等について、事務局で検討することを確認し、終了した。